

製品名: アスパラギン合成酵素ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01444**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 64 kDa; Observed MW: 64 kDa

抗原情報

遺伝子名	ASNS
別名	TS11; ASNSD; ASNS; Asparagine synthetase [glutamine-hydrolyzing]
遺伝子 ID	440
SwissProt ID	P08243
免疫原	ヒトアスパラギン合成酵素の合成ペプチド

背景

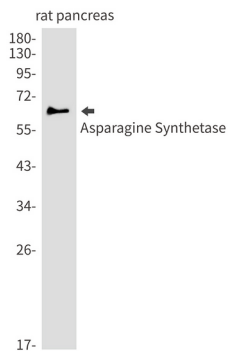
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アスパラギンの合成に関与しています。この遺伝子は、温度感受性ハムスター変異

体 ts11 の変異を補完するものであり、この変異は、細胞周期の G1 期の進行を阻害し、非許容温度域で阻害します。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。

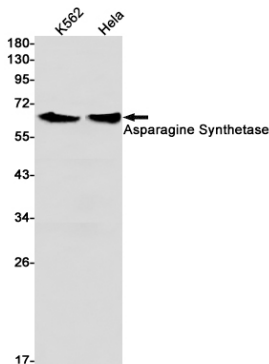
研究分野

シグナル伝達

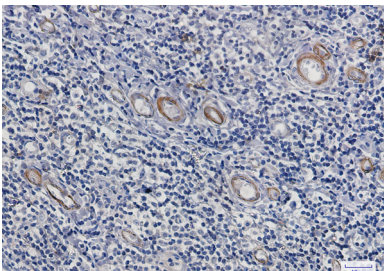
画像データ



アスパラギン合成酵素抗体を使用したラット膵臓溶解物中のアスパラギン合成酵素のウェスタンブロット分析。



アスパラギン合成酵素抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中のアスパラギン合成酵素のウェスタンブロット分析。



アスパラギン合成酵素抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。